



2019年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 アライドアーキテツ株式会社
 コード番号 6081 URL <http://www.aainc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 壮秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大野 聡子 TEL 03-6408-2791
 定時株主総会開催予定日 2020年3月27日 有価証券報告書提出予定日 2020年3月27日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期の連結業績(2019年1月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	4,087	0.0	157		192		281	
2018年12月期	4,088	27.1	14		251		369	

(注) 包括利益 2019年12月期 190百万円 (%) 2018年12月期 429百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	20.08		21.9	6.8	3.8
2018年12月期	26.42		23.3	7.9	0.4

(参考) 持分法投資損益 2019年12月期 13百万円 2018年12月期 195百万円

(注) 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	2,611	1,201	45.5	84.73
2018年12月期	3,039	1,387	45.4	98.41

(参考) 自己資本 2019年12月期 1,187百万円 2018年12月期 1,378百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	51	240	412	656
2018年12月期	362	2	485	1,360

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年12月期		0.00		0.00	0.00	0		
2019年12月期		0.00		0.00	0.00	0		
2020年12月期(予想)								

(注) 2020年12月期の配当予想額は未定であります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	4,556	10.3	101	

(注)当社は年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみ記載しております。

なお、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想につきましては、以下の変動要因に鑑み、今年度は開示しないことと致します。
 ・海外子会社の重要性が高まったこと及び最近の為替相場の変動状況に鑑み、為替差損益による業績への影響を想定することが困難であること
 ・アライドアーキテクツが保有する投資有価証券の価値の変動により、評価損や売買損益が発生する可能性があること

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を、当連結会計年度より適用しております。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度における連結貸借対照表は、有形固定資産の「リース資産」が60,237千円、流動負債の「リース債務」が64,411千円、それぞれ増加しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期	14,042,700 株	2018年12月期	14,033,100 株
期末自己株式数	2019年12月期	23,544 株	2018年12月期	23,544 株
期中平均株式数	2019年12月期	14,017,512 株	2018年12月期	13,983,959 株

(参考)個別業績の概要

2019年12月期の個別業績(2019年1月1日～2019年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	3,501	5.0	173	41.7	150	48.2	92	
2018年12月期	3,334	9.2	297	107.2	290	142.7	83	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期	6.56	6.55
2018年12月期	5.96	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	3,531	2,281	64.5	162.39
2018年12月期	3,732	2,107	56.3	150.07

(参考) 自己資本 2019年12月期 2,276百万円 2018年12月期 2,102百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. (1)経営成績に関する分析」をご覧ください。